

GOLD'S GYM
BASEBALL CLUB
EST.2006

2016 YEAR BOOK

全日本クラブ野球選手権 全国大会2年連続出場



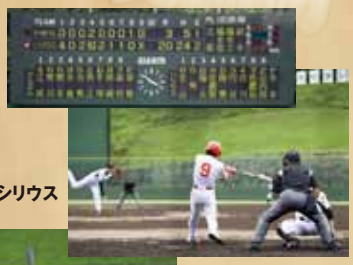
第41回全日本クラブ野球選手権大会出場（西武プリンスドーム）

ゴールドジムベースボールクラブ　ヒストリー

HISTORY OF 2005

プロ・アマ交流戦

1度目



2009年7月10日
GOLD'S GYM vs シリウス
GOLD'S GYM 3−20 シリウス



2度目

2011年5月21日
プロ・アマ交流戦
読売ジャイアンツ第2の2軍
読売ジャイアンツ球場
GOLD'S GYM 1−3 巨人





3度目

2011年10月6日
プロ・アマ交流戦
読売ジャイアンツ第2の2軍
読売ジャイアンツ球場
GOLD'S GYM 0−3 巨人



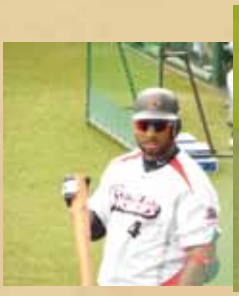


4度目

2012年7月7日、
9月1日 プロ・アマ交流戦
ヤクルトスワローズ　美女木グランド

7月7日　GOLD'S GYM 4−7 ヤクルトスワローズ
（雨天3回終了）
9月1日　GOLD'S GYM 0−9 ヤクルトスワローズ







2005 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>



2005年5月10日
初期のGGベースボールチーム。
思い出の若手芸人チームとの対戦。



2010年6月19日
対ゴールデンゴールズ戦観客は
なんと3,000人を超えた。



2011年9月12日 東京クラブ秋季大会 優勝



2007年4月28日
初公式戦の相手は東京LBC。
総力戦で望むも、
惜しくも破れる。



2010年8月14日
2回目の顔合わせとなるゴールデン
ゴールズとの試合は緊迫した接戦で結果はドロー。



2011年5月3日 東京クラブ春季大会 優勝



2009年11月23日　あきる野市長杯 優勝
チームとして初優勝は、現在のチームへの礎となった。



2010年10月23日
滋賀遠征 びわこ杯初参戦
対 滋賀高島ベースボールクラブ



2011年6月20日（月）
第82回 都市対抗野球大会
東京都代表決定戦
二次予選 vs NTT東日本



2010年4月3日　エイデン愛工大ブリッツとの親善試合



2011年7月10日（日）
第36回全日本クラブ
選手権大会
南関東二次予選一回戦
対 横浜金港クラブ

2016

2014年7月15日
読売ジャイアンツ
読売ジャイアンツ球場
GOLD'S GYM **2−2** 巨人

5度目







2015年6月18日
読売ジャイアンツ
読売ジャイアンツ球場
GOLD'S GYM **3−3** 巨人

8度目







2016年6月12日
読売ジャイアンツ
読売ジャイアンツ球場
GOLD'S GYM **3−6** 巨人

9度目







2014年9月4日
読売ジャイアンツ
読売ジャイアンツ球場
GOLD'S GYM **2−2** 巨人

6度目







2016年9月22日
東北楽天ゴールデンイーグルス
楽天泉練習場
GOLD'S GYM **1−9** 楽天

10度目







>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>2016

2012年5月28日（月）
第83回都市対抗野球大会
東京都2次予選 敗者復活1回戦
対 東京ガス（3対4）







2015年度 東京都クラブ春季大会 優勝
2015年度 東京都クラブ秋季大会 優勝
第86回都市対抗野球 東京都2次予選進出



2016年度 東京都クラブ春季大会 優勝
2016年度 全日本クラブ選手権 関東予選 第5代表決定戦 勝利



2012年10月8日　さいたま市長杯
第19回JABA選抜クラブ対抗野球関東大会 優勝



第41回全日本クラブ野球選手権大会 全国大会 2年連続出場
2016年9月2日 西武プリンスドーム VS 県警桃太郎（2対5）







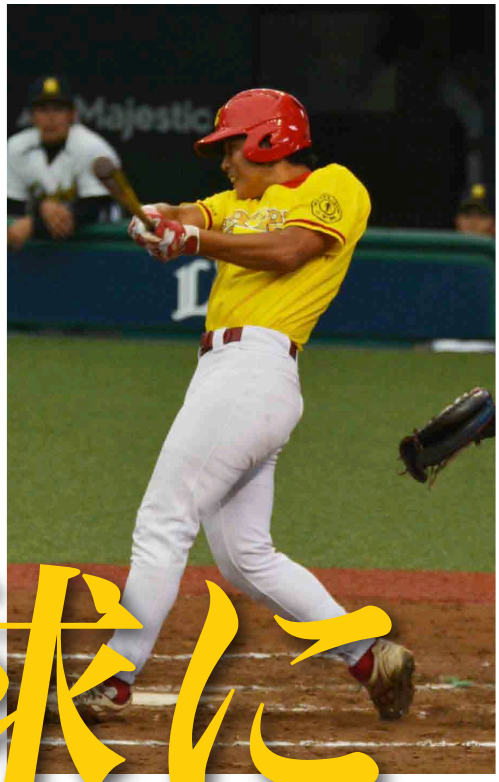
第40回全日本クラブ野球選手権大会 全国大会 初出場
2015年9月4日 西武ドーム
VS 松山フェニックス（0対12）



2014年5月26日
第85回 都市対抗野球大会 東京二次予選
VS 鷺宮製作所（4対2）












懸し
一球に



する



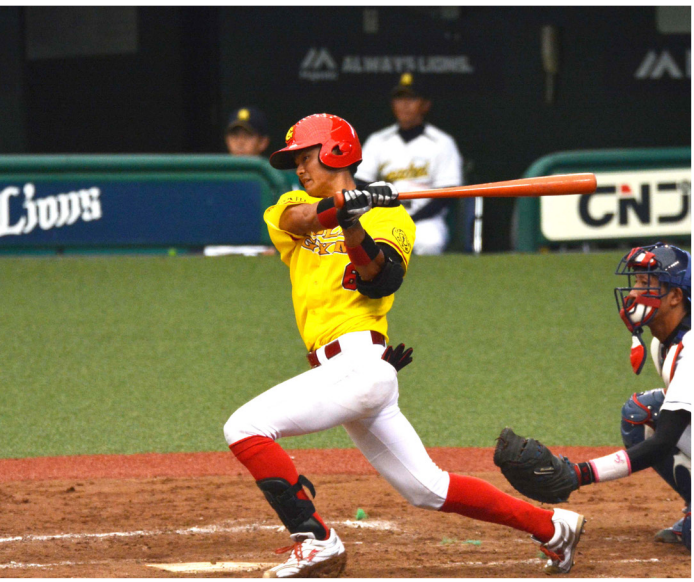








想い













ゴールドジム ベースボールクラブの方針

1、技術練習の不足をフィジカル強化で補う。
1、負けた原因は、自己から招いたミスと認識し改善をする。
1、勝っておごらず、負けて乱れず、真の競技者となる。
1、目標達成と成功は異なる。成功とは一歩ずつでも進む歩みなり。
　何年も進む(前進)することに価値あり。
1、勝利の喜びも、敗北のくやしさも競技者であることの証である。
　いつの日かおとずれる競技者からの卒業へ向け、一日一日を大切に、かつ有意義に過ごす。

そして、野球を通じて実社会における行動や考え方を学ぼう。人生における大切な人間関係やチームワーク、そして一歩先を予測して準備する考え方と、それを実行する能力を野球がくれた「宝物」とする。
それを生涯において大事に役立ててもらうことを、最大の願いとし、このチームで永きにおいて活動できることを目標とする。



監督 手塚 栄司

日頃よりゴールドジムベースボールクラブを支えてくださっている多くの皆様に心から御礼申し上げます。
今年は野球の怖さ、楽しさを存分に味あわせて頂きました。
鹿子島のバックホーム、村山のサヨナラ満塁ホームランや、ピッチャー交代が遅れたためにあっという間に逆転されたことは投手の責任ではなく、監督の責任です。このように、劇的なプレーを間近で見れることは最高の幸せです。改めて野球は楽しいと実感いたしました。
もう一つ学んだのが、このような劇的なプレーをするためには、まぐれや奇跡ではありえなく日頃の努力が身を結んだ成果であり、選手全員の努力の賜物です。
野球で活躍できる選手は限られますが、練習は一人ではできません。練習を必死で行うことで素晴らしい結果がついてくる、選手全員が熱心に練習に取り組めたことが素晴らしいことと思います。
そして練習熱心な三井、岡芹、吉田がレジェンドチーム入りすることは大変寂しいことですが、彼らはそれを今後の仕事に活かしてくれると信じています。
チーム全員が一生懸命練習し、そこから生じた、強い想いが自らを動かす意思のチカラと感じます。
常に身近に学べる私は大変幸せです。これからも学ばせて頂きたいと思います。



ヘッドコーチ
上田 浩明

まずは、日頃より応援、ご協力いただいている皆さま方に心より感謝申し上げます。

2016年度も、日々試行錯誤を重ねながら常に前にすすむことを目標に練習、試合を重ねてまいりました。皆様の応援、選手の頑張りもあり2年連続の全国大会への出場を果たせたものの、やはりそこから先の満足いく結果が残せずまだまだ精進すべき余力があると自らを律するところであります。

初心者は簡単に成果が出ます。それはあくまでも初心者レベルの成果です。一定のレベルまで達すれば、そこからの伸びが緩やかになる事は皆さんもよくご存じだと思います。ではどうするのか?当然の事ながらすぐに成果が見えないからと言って諦めていてはいけません。日々の成果は微々たる伸びかもしれませんが、その微々たる伸びが積み重なり、やがて大きな結果を残します。一分一秒の取り組みが己の実力を底上げするのです。

2017年度は　技術面の向上はもちろんですがもう少し「野球」の出来る時間のありがたさを感じた上での一分一秒を大切にし、さらに前進できるチームへの取り組みを促していきたいと考えています。

私たちチームにはまだまだ出来ることがあります。共に頑張っていきましょう。



部 長
出井 一茂

2016年お疲れ様でした。ベテラン選手、中堅選手、若手新戦力選手おのおのが、寝る間を削り努力を重ね練習に打ち込んだことで、2016年の各大会の結果につながったのだと確信しています。

ですが、今もあたり前の様に出来ている練習、練習試合、公式戦参戦、その全てにおいて、周囲の大きな協力があって成り立っているという事を絶対に忘れず、2017年もチーム一丸となり、全国大会での優勝を目指し、日々のトレーニングと野球技術の習得、そして何より仕事においても中心人物になる事を強く目指し頑張っていきましょう。



コーチ
星野 真澄

2016年は私にとって大きな区切りをつける事ができたとしになりました。

仕事と野球の両立に加え、トレーニングや調整を行えない状態で、自分の思った投球が出来ず、こうやって終わっていくのだなぁとぼんやり考えながらプレーしていました。入社時の目標は全国優勝をし、会社に様々なプラス効果をもたらす事と、過酷な状況の打開案の提出でした。

もし今の投手陣でそれが出来そうになければ私が自ら行ってしまおうという計画でしたが、それすら出来なくなり

ここから先は、コーチとして、投手陣を支え、強くしていける鬼軍曹になる予定です。その為には、一回の練習で行う優先順位をしっかりとつけ、常に考察し、少しでも力をつけて行けるように、マネジメントしていきたいと考えております。

2017年、三年連続全国大会出場が出来るように投手の尻に火をつけて行きたいと思います。



外野手
米倉 拓也

職場、家族の協力があり、2016年も野球部の活動に参加させて頂けたこと、とても感謝しております。

奇跡の大逆転でクラブ選手権に出場することはできましたが、まだまだ力の差を感じたシーズンでした。2017年はおそらく選手の入れ替わりが激しくなる予感が致します。

昔からの良い習慣は引き継ぎつつ、常にチーム内が良い意味で循環できるようサポートも強化したいと思います。

成績はもちろんですが、今年も1年間怪我の無い年にすることが目標でございます。2017も応援宜しくお願い致します。



コンディショニング コーチ
白坂　契

ゴールドジム野球部のトレーニングを指導して一年が過ぎました。あっという間の一年でした。

プロ野球とは違い、クラブチームの野球は練習環境もけっして恵まれていないし、時間的にも少ない、練習後の勤務など肉体的にもきつい状態のなかで野球を取り組むすがたには感動しました。野球に対する思いがプロ野球や社会人野球に負けないと思いました。

競技レベルで行える年齢はその人によって、違いはあるものの決して永い時間ではありません。限られた時間をいかに有効に生かしていくかが大切です。

今の時間を有効に生かすことが出来るようになると、その後の人生で大きな経験・自信となりよい結果をもたらすでしょう。野球と仕事は共通することが多いです。

一つの目的・目標に向かってチームで戦い、個でも戦う。常々社長が選手に対して話す内容は人生の極意（成功の極意）です。これを理解できた人は将来会社を支える柱となっていくでしょう。

皆さんは野球というクラブ活動が最高の研修の場となっていることを気がついていますか。チームが勝つことを求めることは、会社も同様です。他の企業との競争です。
勝つために自分がどういう役割をはたし、貢献する為には何をなすべきかを学ぶ場となっています。

是非、自分がチーム（会社）に貢献できる役割を見つけて、その為に行うべきことを掘り下げて正しい努力を継続してほしいと思います。
“THINK” 会社の企業理念を思い出してください。

今年は一つ一つのチームとしての問題点を皆で洗い出し、皆で解決策を提案し話し合いより強いチームを作ってほしいと思います。

トヨタ自動車のカイゼン（改善）を見習い強いチーム（会社）を作って下さい。同じ目標に向かう仲間を大切にしてほしいと思います。時には厳しい言葉も!ただし、思いやる愛情を忘れてはいけません。

人は完璧な人はいません。失敗から学び成長します。野球も仕事もそれは同じです。後輩の指導も同じです。短所を修正し、長所を伸ばしてほしいと思います。プロ野球選手でも企業の戦士でも成功する人は自分自身を良く知っています。

失敗、成功を検証し、失敗の原因、成功した理由を理解し次のステップにしています。
先ずは、2017年シーズンを迎えるにあたって2016年の自己を振り返り今年なすべきことを各自で見つけてカイゼン（改善）してください。

改善点がフィジカルなのか?技術なのか?戦略なのか?まだまだ教えたいことはあったのですが、直接教えることが出来ずに申し訳ないです。

私は戦う場を今年は韓国のプロ野球（KBO）に移します。ともに戦ったチームの皆さん、チャンスを与えて頂いた手塚社長、一年間ありがとうございました。
野球の場において学び、立派な社会人に共になりましょう。皆さんの健闘を祈ります。私も負けずに頑張ります!“また会いましょう!”



外野手／主将

川島 尚仁

今年1年間、弊社野球部に携わって下さった皆様本当にありがとうございました。今年の結果としてなんとかクラブ選手権に出場する事は出来ましたが、1年をトータルすると前年より下回る成績で終えました。主将として力不足ということもありチームもまとめられず非常に悔しい1年でした。2017年次へのステップというテーマを掲げています。個人のステップアップもそうですが野球をやっている以上はチーム一丸となって戦う事。チーム自体がステップアップしていかないといけません。社業においてもそうですが全員で協力しないと良い店舗を作り上げる事は不可能です。

常に全員野球。これをチーム全体に意識付けする事。これを徹底していきます。ゴールドジムの看板を背負っている以上、日本のみならず海外のゴールドジムの看板も背負っています。今一度チーム全体足元を見直して、1からチーム作りしていきます。選手はもう一度自分を見つめ直してください。誰もが憧れを持てる良いチームを協力し合い頑張っていきましょう。

関係者の皆様はまだまだこれからも御迷惑をお掛けするかと思いますが必ず結果で恩返し出来るよう努力して参ります。今後共、御指導御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

投手

14 石上 翔太

昨年度は今チームに加入したことで、投球術並びにトレーニングに関する考え方が大いに変革された年でした。大学四年間よりもはるかに深く野球について考えられるようになりました。

新年を迎えましたが、自分が野球をすることが出来るという幸運とあらゆる人の支援に感謝し、自分の力でチームを勝利に導いていけるような投手を目指し、日々精進致します。今後とも宜しくお願い致します。

16 嶋田 健人

まず、野球部がこの様な活動ができているのも社員の皆様、活動を支えて下さっている周囲の皆様のおかげです。心より厚く御礼申し上げます。

昨季の活動としては個人的にもチーム的にも全く納得のいかないシーズンとなりました。今季こそ全日本クラブ選手権優勝、都市対抗野球出場を目指して、個人そしてチームとして一丸となって頑張りますので温かく御声援いただければ幸いです。宜しくお願い致します。

17 鈴木 孝幸

今シーズンは野球部初の全国大会出場もあり、結果が出たシーズンであったと思いますが、それに伴って多くの課題が出たシーズンでもあったと思います。全国レベルの強豪チームと戦って勝つためには何をしていかなければならないのか。その事が今シーズンで得たものであり、来シーズンに向けてやらなければいけない事だと思います。その内容は技術面、フィジカル面で明確になってきていると思いますので取り組んで改善につなげていきます。

仕事上ではRFでは6年目になりますので、組織の中心として仕事を回していけるような存在になっていきます。その為に自身から積極的に仕事を進め、若手をリードしていきます。販促の活動や倉庫の改善業務など良い方向に業務は進んでいるので中心となって進め、改善していきます。

19 佐藤 守

毎年毎年、そして昨年も会社全体の方々の協力のおかげで、とてもよい環境の中で野球の活動が出来ていることに感謝しています。本当にありがとうございます。

そして、協力して頂いている皆様に恥ずかしくない志で今年も努力します。

昨年の個人的な結果として、最低最悪の結果となりました。チームとしても、全国地赤井での勝利を収めることができませんでした。この結果を反省点として今後も取り組んでいきます。御指導の程宜しくお願い致します。

20 佐々木 朋也

昨年は病気や自己都合で、なかなかチームに参加できず、思うような活動を送れませんでした。その中でも、ピッチングに繋がるように意識したトレーニングは続けてきた結果、年末ごろには徐々に成果として現れてきたと感じています。

限られた時間の中でも、自分に必要な事を見定めてトレーニングや練習を行い、今年は主戦として投げられるように頑張っていきます。

21 北見 繁雄

去年はチームとして大事な試合を落としてしまい悔しい思いをした一年でした。チームが目の前の試合に対して一つになって戦いきれていない印象があったので、今年は練習から基礎的なことからチームが一つに向かって全力で取り組んでいけたら良いと思います。

個人としてはけがをしてしまいチームの戦力になりませんでした。先発としても納得のいく結果を出すことが出来ず悔しい一年でした。

来年の抱負は、ずけがをせずにシーズンを戦いぬく事です。日々のトレーニングやサプリメントの摂取などを怠らず、自分の体をしっかりと管理してすごしていきたいと思います。

そのトレーニングの中でうまく結果に結びついて良い成績を出すことです。企業チームに勝つことや全国大会に出場しそれに繋がる日本選手権に出ることです。シーズンを終えたときに自分で良かったと納得の出来る年にしたいと思います。

31 石川 晃

昨年は2年連続の全国大会出場となりましたが、同時に2年連続の1回戦敗退となってしまいました。個人として全国行きをかけた試合に先発させていただき、試合を任されたにもかかわらず周りが見えなくなってしまい、不甲斐ない結果となってしまいました。自分の能力的にも精神的にもまだまだ大舞台で普段の力を出し切れていないことが悔しくて仕方なかったです。

今年はチームとしては、都市対抗野球出場、全国クラブ選手権大会で勝ち進むということが目標になりますが、個人としてはもう一度全国クラブ選手権大会行きをかけた大一番で先発を任せていただけるよう、また他の試合でも頼れる投手になれるように日々鍛錬していきます。

51 西垣 陽平

昨年は投手転向をして初めてのシーズンでしたが試合に出る事は少なく、戦力としてチームに貢献する事は出来ませんでしたが2年連続の全国大会出場という、とてもいい経験をさせていただきました。

来季は指導者の方々の信頼を得るために練習の取り組む姿勢から改善を行い、日々努力をする事で試合で結果を出し、少しでも多く出場出来るように頑張ります。

仕事の面でもメンテナンスとして一流になる為に難しい事にも挑戦していきます。

54 藤谷 周平

昨年はマウンドに立ったものの自分の思った通りに投げられない事が多かったです。今年はどの場面で投げても結果を出すように工夫して練習していきます。

81 中川 幸

2016年は駆け抜けた1年でした。野球を新たに始め、仕事は新しい環境になり、ひたすら野球と仕事の毎日だった気がします。良い環境とはいえ、なかなか慣れずにつらい時期もありましたが、チーム競技、皆同じ状況で頑張っていると思うとがんばれました。

また、女性が混ざるということを受け入れてくれた監督、コーチ、選手の皆さまには感謝の一言です。

2017年は人として選手として成長できる1年にしたいです。

捕 手

37 河西 大樹

今シーズンを振り返り、とても充実した1年だと思います。
シーズンを通して、全国大会や琵琶湖杯、その他の大会など去年経験出来なかったことも多かったので、とても貴重な経験ができたシーズンだったと思います。
チームとしての方向性も明確化され、日々の練習もとても充実していました。
来年は、チーム全体では2年連続の全国大会出場及び全国大会での勝利、個人的には少しでも技術や体力作り、メンタル面の向上を図り、チームに貢献していきたいと思います。
また、仕事上では3年目に入り今以上に求められることややるべきことが多くなってくると思いますので、野球だけではなく、仕事でも自ら色んなことにチャレンジし、スキルアップしていきます。

内野手

0 仁田 真彦

昨年も無事に野球ができ、二年連続全国大会に出場出来たのも会社の皆様のご協力と応援のおかげです。ありがとうございます。
全国大会に二年連続で出場できていますが、まだ一勝もできていないのが現実です。また昨年負けた試合の内容も大体同じになってしまい反省を活かす事が出来ませんでした。
今年度は全国大会で勝つこと、会社の代表で野球をやっているということを常に考え練習に励んでいきたいと思います。
また細かい野球をやっていけるようチーム全体で意識できる一年にしていきたいです。

6 今野 翔太

昨年はレギュラーとして試合に出させていただき個人的にはすごく嬉しく思います。その中で自分自身の成績、チームの成績を見直すとまだまだ力不足だと感じました。
自分の成績はエラーも多く、その中でも送球ﾐｽが多かったです。打撃ではサインプレーを一発で決められなかったり、簡単に三振してしまったところもありました。
チームの成績は、とにかく勝てないという印象が強かったです。正直勝てる気がしませんでした。ですが、チーム全体での練習に対する意識などは前に比べたら少しは良くなってきたのではないかと思います。もう少しもっと意識を上げてほしいです。
今期の抱負
昨年に続きレギュラーとして試合に出る事。試合に出るからには自分の役割を知り、チームに貢献する。昨年より更に全力プレー。どんな試合でも勝ちにこだわる。意識をもっと高く。
昨年は都市対抗予選に出れなかったので、今年は出る。
そして、全日本クラブ選手権大会では二年連続で一回戦敗退なので今年はまず、一勝を目標に1戦1戦勝ち上がり優勝を目指す。
昨年は負けに負け、正直ほんとにつまらない一年でした。今年は本当に負けたくないので、勝つために意識を高く持って練習を行う。
個人の成績、チームの成績、昨年よりいい成績が残せるように頑張ります。
みんなでいい一年にしていきましょう。

8 塩田 貴大

今年は二年目のシーズンでしたが、春秋と優勝し、クラブ選手権大会も出場する事が出来てとても良い経験になったと思います。しかし、企業のチームに比べてしまうと技術であったり、野球に対する意識・考え方がまだまだ劣っていると感じました。今後は野球に対する考え方や練習に取り組む姿勢などをチームとしてではなく個々が向上していかなければいけないと思います。個々の技術や取り組み方が変わってくればチーム全体が変わると思うので、自分自身が見本となれるよう努力いたします。
来年は今年の成績より上を行く事、そして強いチームを作る事です。
社長がいつもおっしゃってる会社の模範となる「良いチーム」を作る事は当たり前ですが、それとは別に「強いチーム」も作るために活動をしていきたいと思います。
今までは仕事をする上で指示を出されて行動する立場でしたが、来年からは自分自身がリーダーシップを出して指示していく立場になると思いますので、目の前の事だけに集中するのではなく、広い視野を持って先々の事を予測した行動をとっていくようにします。

26 本田 真碁

昨年度はｸﾗﾌﾞ選手権に出場する事が出来ましたが一回戦負けという結果に終わってしまったので今年度はさらに上を目指して日々励んでいきます。
応援して下さる社員の皆さま方、今後とも宜しくお願い申し上げます。

外野手

3 田中 道太郎

昨年度も社員の皆様の多大なる御協力のもと、無事活動を送らせていただき誠にありがとうございます。
我々野球部の活動は社員の皆様のご支援のもと成り立っている事を部員一同強く自覚をし、今年も活動させていただきたいと思います。
昨年度の活動を振り返り、個人としては失敗を多く繰り返したシーズンとなりました。取り組んできた事がなかなかうまくいかず、試行錯誤を繰り返しながらの一年でした。
その中で多くの発見を得る事が出来ましたので、この経験を来シーズンに活かしてより自らの技量を成長させる糧にして参りたいと思います。
今シーズンのメインテーマとして「次へのステップ」があります。個人としてもチームとしても野球部の活動をどうよりよい物にしていけるかを念頭に活動をして参ります。

13 鹿子島 宜美

昨年のテーマとして仕事と野球の両立でしたが、1年を通してぶれることなく取り組むことが出来ました。
個人的には2年計画の1年目として、結果を求めず、試行錯誤の1年としてとらえていましたので大した結果を残すことはできませんでしたが、今年の結果につなげられる意味のある年にすることが出来ました。
今年は圧倒的な結果を残すことをテーマに仕事、体づくり、野球を軸に取り組んでいきます。

28 広沢 鴻輝

昨年の活動
昨年は成長の年だったと思います。打撃面でもやっと練習の成果やﾄﾚｰﾆﾝｸﾞの成果が出てきました。まだ、打撃面での波もかなり激しく感じます。そこは来期の課題でもあります。

来季の抱負
来期は守備面、打撃面、走塁面全てにおいてｽｷﾙｱｯﾌﾟをしていきますが、特に守備面を強化していきます。昨年もかなり守備面において苦しんだ場面が多々ありました。来期は守備面で活躍出来るように精進してまいります。

マネージャー

石川 留衣

昨年は社外マネージャーとして活動させていただきました。仕事での関わりがない分、選手との距離が開いてしまうのではないかと不安でした。ですが、公式戦に参加することで日頃の練習の成果や、選手の成長を感じることができ、この一年で私も気づくことがたくさんありました。離れてみて初めて分かることもあるので、私の立場からでもチームのために何ができるのか今後も考えて活動していければと思っています。
また、今年は新しくマネージャーを迎えるということで、サポートの幅を広げ、選手により良い環境で野球をしてもらえるように工夫して行きたいと思っています。



一時 休部選手



捕手 27 岡芹 隼



アスリートチーム最後の1年と決めた昨年は自分の為ではなく、応援してくださっている人の為にとの思いで挑んで来ましたが、一昨年を超える結果を出せずに終わってしまいました。結果として悔しい部分が残った1年と感じている選手は多いと思いますので悔いを晴らすには2017年しかありませんので年数は長くはありませんが野球部の歴史を感じながら、新チームの良さを生み出して行って欲しいです。

私自身は7年程本気で野球をやらせていただいたことに大変感謝しております。7年間で1番思い出と考えるとまだ本社倉庫の2階にバッティングマシンがある時に練習のない早朝から社長と2人でバッティングしていたことを思い出します。

この歳まで野球ができたのも社長、上田コーチ、いつも応援に来てくださる方々、また店舗のスタッフの方々のおかげであります。

今後、野球のみならず格闘技など競技と両立して行くスタッフが増えて行くと思いますので、アスリートスタッフが競技と仕事の両立ができる環境を支えていきたいと思います。



内野手 2 三井 悠嗣



2016年も会社の多くの方々に支えられて無事に野球部の活動が出来たことを心より御礼申し上げます。2016年を振り返りまして、チームとしては2年連続の全国大会出場出来たことはとても大きな事だった思います。勝つことのﾌﾟﾚｯｼｬｰに選手1人1人が打ち勝った結果だと感じております。まだ全国で勝ちきれないところは今後の課題となります。

個人としては、自分の野球人生として色々と向き合う一年となりました。良いことも悪い事も経験出来て「やって良かった」と強く思える年でした。2017年度も活動は少なくなりますが、宜しくお願い致します。



投手 15 吉田 創



今年は今までになく充実した1年になりました。

星野コーチや藤谷さんの指導の下、考え方と気持ちを変えるだけでここまで変化出来るのかと自身でも驚いています。まだ考え方が足りず失敗も多くありましたが、今までとは違った感覚もあります。来期に繋がる貴重な経験が出来ました。また、毎年も裏方としていろいろとサポートをして頂いた方、応援団の方々など多くの人に助けて頂きました。本当にありがとうございます。

念願の全国大会に出場を果たしましたが、恥ずかしい試合内容になってしまい必ずリベンジをしに西武ドームへ行き一つでも多く勝ち進んでいきます。また、チームのサポートも出来る事はしっかりと行い普段ご迷惑をかけてしまっている方々に余計な負担をさせない様にしていきます。

仕事上では、いろいろな事を体験させて頂きながら自店の事だけではなく他部門やGGの方々と接する機会も増えており良い経験が出来ております。

私自身、周りの方々から必要とされる人として、今後よりレベルを上げていきます。野球を通じて他では経験の出来ない事を学んでおりますので、結果として見える様に日々精進して参ります。



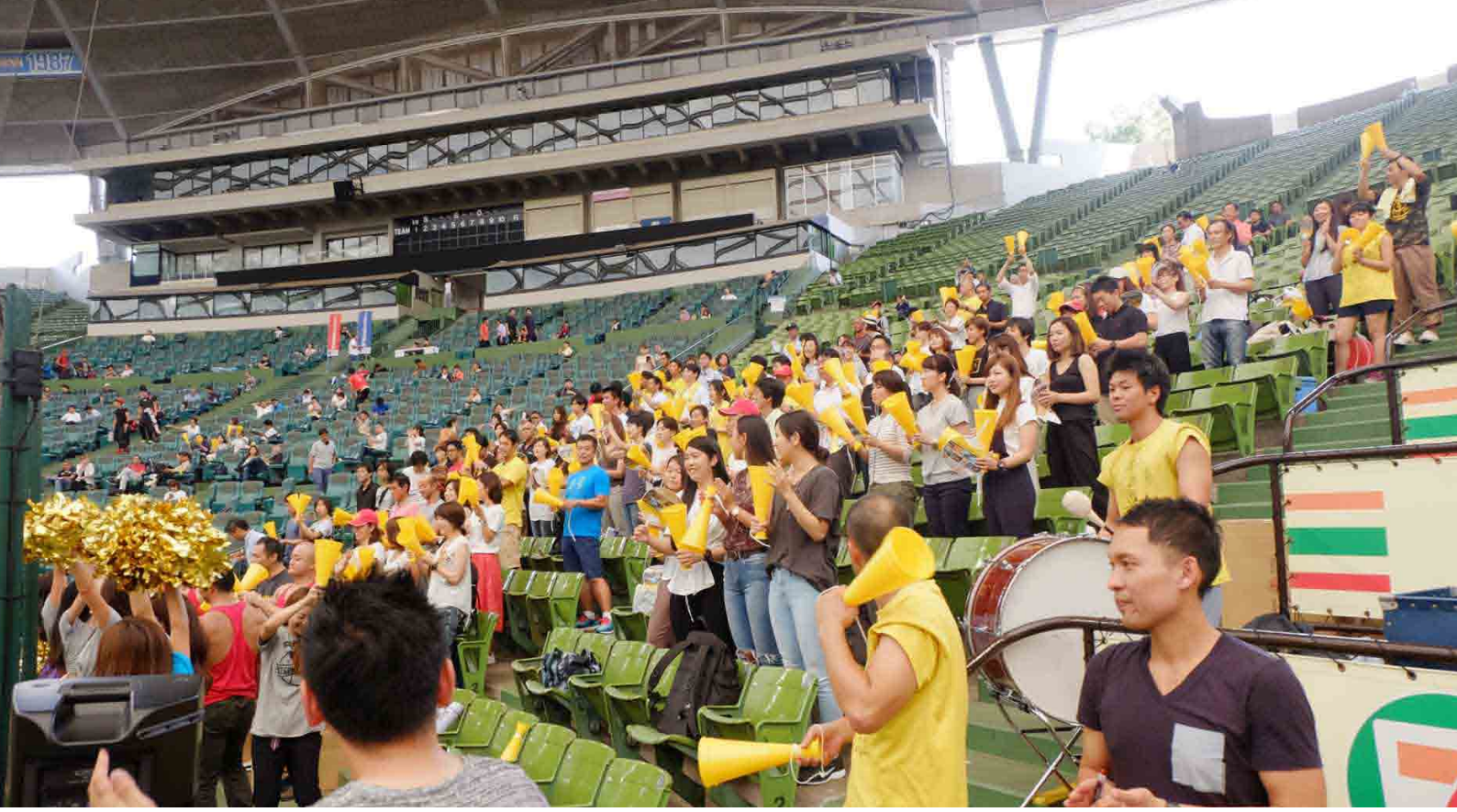
内野手 46 村山 康平



今シーズンを振り返ってみると昨年同様にとても良いシーズンを過ごす事が出来たと感じております。
これも周りの方々のサポートのおかげだと思っております。

ですが、昨年のシーズン同様に全国大会では、またも1回戦で敗退という結果になってしまったことは心残りになってしまいますがこの2年間で色々な経験をさせていただいた事に感謝しています。

来年度からは野球から離れて新しい事に挑戦しようと思っております。
また、皆様にはご迷惑をお掛けする事があるとは思いますが今後とも宜しくお願い致します。







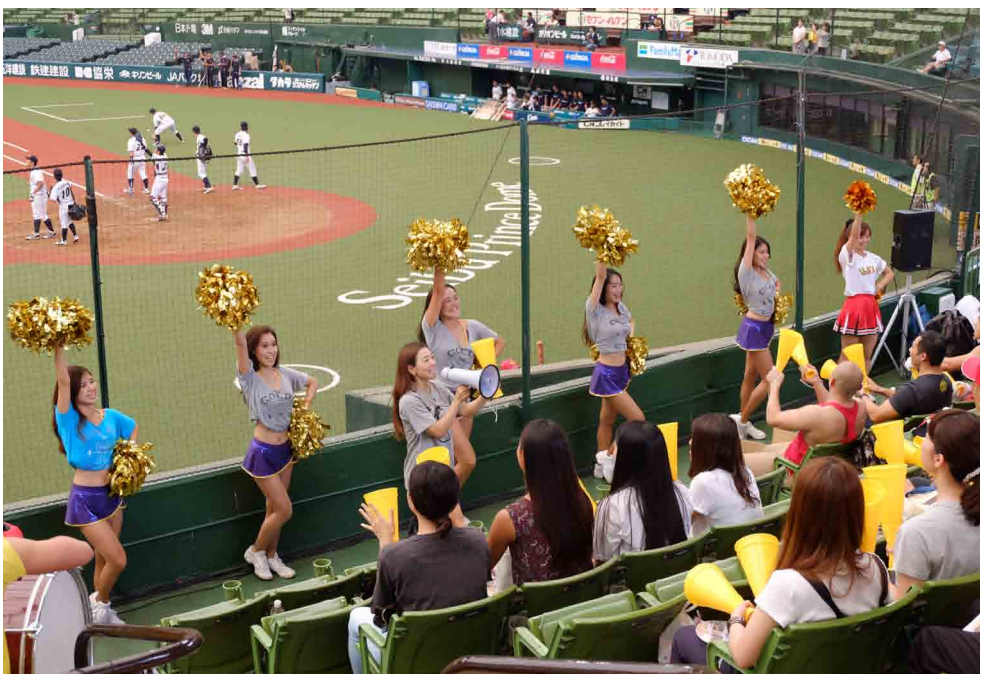














GOLD'S GYM

9×8 西多摩倶楽部

鹿子島の好返球で初戦を劇的勝利!



鹿子島のレーザービーム送球

11回裏、先頭打者への2球目は深めに守るセンター右後方への犠牲フライになるかと思われたが、センター鹿子島のレーザービーム送球で刺殺。劇低な幕切れとなった。



2016年4月3日 JR東日本グランド

第41回全日本クラブ野球選手権大会 東京都予選 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	R	H	E
GOLD'S GYM	2	2	0	0	0	0	0	4	0	0	1	9	15	1
西多摩倶楽部	1	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	8	7	2

延長11回タイブレーク

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1(右) 田中	4	2	0	3	四球	左二	中飛	――	――	一直	――	左二	――	――	――
2(左) 川島	2	1	2	2	儀打	右前	――	右飛	――	四球	――	右犠飛	――	――	――
3(中) 鹿子島	4	1	1	2	中三	遊失	――	四球	――	投犠打	――	二ゴ	――	中飛	――
4 DH 米倉	6	4	2	1	左前	中前	――	中前	――	中飛	――	左前	――	遊直	――
5(一) 長谷川	3	0	0	0	三振	ニゴ	――	三併殺	――	――	ニゴ	――	――	――	――
PH 村山	2	1	1	0	――	――	――	――	――	――	――	中前	――	――	三振
6(中) 塩田	6	2	0	0	左前	――	ニゴ	――	一直	――	一飛	――	中飛	――	三安
7(二) 三井	3	0	0	0	中飛	――	中飛	――	遊失	――	――	――	――	――	――
二 仁田	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	三振	――	――	――	――
PH 広沢	1	1	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	左二	――	――
二 上田	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	三ゴ
8(三) 今野	3	2	0	0	――	三ゴ	右二	――	右前	――	――	――	――	――	――
PH 一重	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	左飛	――	――	――
二 本田	0	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	右犠飛	――	――
9(捕) 岡芹	3	1	0	1	――	左前	四球	――	遊直併	――	――	四球	ニゴ	――	――
	計	40	15	6	9										

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
嶋田	4 2/3	19	78	3	2	3	3
星野	5 1/3	20	83	4	9	2	3

初回、鹿子島の中越え適時三塁打、米倉の適時打で2点、2回にも川島の適時打、相手の守備の乱れから2点を追加します。しかし、五回に、好投の島田が突如連続四球を与え満塁としたところで投手は星野が緊急登板。するとサードの失策から1点。なおも満塁で、次打者には走者一掃の右越え適時打二塁打を浴び逆転。さらに、適時打など浴び、この回3失点。

GGは4点のビハインドで迎えた8回、1アウトから四球の岡芹を一塁におき、田中が左越えの二塁打で2.3塁とすると、川島の犠飛で1点。さらに相手守備の乱れから1点、そして米倉、代打村山の適時打で2点を加え同点とします。

迎えた9回、代打広沢がレフトへ痛烈な当たりの二塁打を放ち得点圏に走者をおくも得点に繋がらずタイブレークとなります。

星野は7回以降は得点を与えず、この回も二者連続三振。すると11回、2アウトから塩田のサードへの当たりが内野安打となり、ついに1点を勝ち越します。その裏、先頭打者への2球目。深く守るセンター右後方への犠牲フライとなるかと思われた当たりを、センター鹿子島がストライク返球で刺殺。劇的な幕切れとなり、準決勝へと駒を進めました。



4番の米倉は大事な場面で適時打を含め4安打2打点。頼れる4番は健在



8回、1点差の場面で代打の村山は、外よりの球をとらえセンターへ貴重な同点打を放つ



田中はこの日も二塁打二本とリードオフマンの役目を果たす



緊急登板の星野は5、6回に出会い頭の適時二塁打から失点を喫するも、回をおうごとにペースを上げ計9奪三振



鹿子島は打っても初回にセンターの頭上をライナーで超える三塁打で得点機を作る



11回、塩田はサードへの内野安打が決勝打となる



本塁打の村山
6回、レフトへ本塁打を放つ村山。4打数4安打の活躍



好投の星野
7回を3安打、10奪三振と相手打線をよせつけない投球

12×2 GOLD'S GYM TOKYO BAY LUSTERS

投打がかみ合い決勝戦へ駒を進める

2016年4月10日 府中市民球場

第41回全日本クラブ野球選手権大会 東京都予選 準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
GOLD'S GYM	0	8	0	0	1	1	2			12	13	1
TOKYO BAY LUSTERS	0	0	0	1	0	0	1			2	3	1

7回コールドゲーム

【打者】	打	安	点	得	1	2	2	3	4	5	6	7	8	9
1(右) 田中	4	1	0	1	二ゴ	四球	――	右飛	――	左二	中飛	――	――	――
2(左) 川島	2	1	2	2	一ゴ	右二	――	――	四球	四球	――	四球	――	――
3(中) 鹿子島	5	1	0	1	中飛	二ゴ	――	――	左飛	左飛	――	左中二	――	――
4 DH 米倉	4	1	2	2	――	四球	左安	――	三ゴ	――	左飛	中飛	――	――
5(遊) 塩田	4	2	1	1	――	右二	右安	――	遊ゴ	――	左飛	左犠飛	――	――
6(一) 村山	4	4	3	3	――	四球	左安	――	――	中二	左本	中安	――	――
7(二) 三井	2	0	1	0	――	右犠飛	投ゴ	――	――	一ゴ	――	――	――	――
二 仁田	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	四球	遊失	――	――
8(三) 今野	4	2	2	1	――	左中二	――	中飛	――	中犠飛	中安	右飛	――	――
9(捕) 岡芹	2	1	0	1	――	四球	――	左飛	――	左安	四球	――	――	――
計	32	13	11	12										

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
星野	7	26	97	3	10	1	2

2回、ゴールドジムの攻撃
四球、塩田の二塁打などでノーアウト満塁の場面。三井の犠飛、相手バッテリーミスを、今野、川島の適時二塁打、米倉、村山の適時打など集中打で一挙8点を奪います。
GGの先発は星野。4回に自らのエラーで1点を与えるも、その後は出塁すら許さぬ好投をみせます。
すると5回に二塁打の村山を今野が犠飛で還し1点、6回には村山の本塁打で1点。7回、鹿子島は二塁打を放つと、村山の中前適時打で一気にホームをつく好走塁で1点を加えます。
7回、星野は1点を与えるも、最後の打者も三振にしとめ、散発3安打10奪三振の好投。投打がかみ合い7回コールドゲームで勝利しました。



2回、大量得点の口火となる適時二塁打を放つ塩田



左中間をライナーで破る適時二塁打を放つ今野



満塁で迎えた川島の第2打席。あわやというライトフェンス直撃の適時二塁打



7回左中間へ二塁打を放つ鹿子島



5回 強烈な当たりの左二塁打を放つ田中



5回に左前へ巧くあわせる岡芹

7×1 GOLD'S GYM 警視庁
藤谷の好投、米倉、村山の本塁打で関東大会出場を決める



右翼席へ本塁打の米倉
狙っていたという外よりの球を捉えると弾丸ライナーで右翼席に飛び込んだ



本塁打の村山
準決勝に続き、2本目となる本塁打を放った村山
打球は軽々とフェンスを越えていった

2016年4月10日 府中市民球場

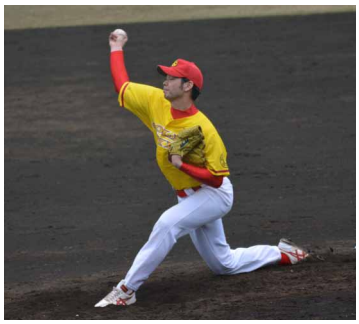
第41回全日本クラブ野球選手権大会 東京都予選 決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
GOLD'S GYM	0	1	1	1	0	0	3	0	1	7	13
警視庁	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(右) 田中	5	3	0	0	左飛	三振	――	左安	――	――	左安	左二	――
2(左) 川島	4	1	0	0	四球	――	捕邪飛	二飛	――	――	三安	ニゴ	――
3(中) 鹿子島	4	2	0	2	遊直	――	中飛	――	中安	――	捕犠打	――	右三
4 DH 米倉	4	1	2	2	左飛	――	右本	――	投併殺	――	三ゴ	――	中犠飛
5(遊) 塩田	4	1	2	1	――	―ゴ	三振	――	四球	――	左二	――	左飛
6(一) 村山	5	2	2	1	――	二飛	――	左本	右飛	――	遊失	――	左二
7(二) 三井	3	2	0	1	――	左前	――	ニゴ	――	左安	――	――	――
二 仁田	2	0	0	0	――	――	――	――	――	――	―ゴ	――	中飛
8(三) 今野	2	0	0	0	――	四球	――	四球	――	ニゴ	――	投ゴ	――
9(捕) 岡芹	4	1	1	0	――	左安	――	中飛	――	左飛	――	左飛	――
	計	37	13	7	7								

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
北見	1 2/3	8	33	3	0	2	1
藤谷	7 1/3	27	98	2	4	3	0

初回、GG先発の北見は、四球からランナー二塁とすると適時打を浴び1点を先制されます。
2回 GGは岡芹の適時打で1点
3回 米倉のライトスタンドへ本塁打逆転すると、4回にも、村山が変化球をとらえこの日2本目となる特大の本塁打を放ちます。
2回、北見は2アウト1、2塁としたところで藤谷にマウンドを譲ります。
藤谷は走者を出すものの要所を締め、ホームを踏ませません。
すると7回、田中、川島が出塁。2アウトから塩田がレフト線沿いに流し、適時二塁打で2点、なおも相手守備のミスから1点と計2点を奪います。
9回には、右中間を破る三塁打を放った鹿子島を米倉が犠牲フライで還し1点を追加。計7回と3分の1を2安打に抑える藤谷の好投で、昨年に続く2年連続、3度目となる優勝を果たし、関東大会へと駒を進めました。
村山は準決勝、決勝と2試合連続となる本塁打を放ち大会のMVPと首位打者をW受賞しました。



藤谷は速球に緩急を交え7回と3分の1を2安打、1点に抑える



大会首位打者に加え、MVPも受賞した村山



2回 岡芹は外よりの球を巧く左前に運び、同点打となる



2回 同点のきっかけとなる安打を放つ三井



田中は3安打と鋭い当たりを連発する。



7回、塩田は外よりの球をレフトへ流すとこれが駄目押しの2点適時2塁打となる



7×2 GOLD'S GYM 山梨球友クラブ

藤谷 2安打 7奪三振 米倉が逆転弾!

川島の好返球で本塁刺

2回、左前適時打を許し、1塁目が帰ると2人目の走者も本塁を狙うも川島の好返球に阻まれる

2016年7月30日 足利市総合運動公園

第41回全日本クラブ野球選手権大会 関東大会 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
山梨球友クラブ	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	10	4
GOLD'S GYM	0	2	0	0	1	0	2	2	×	7	10	0

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(右) 田中	5	1	2	1	三ゴ	左二	――	三振	――	ニゴ	遊飛	――	――
2(左) 川島	4	1	0	0	左前	遊ゴ	――	―ゴ	――	遊失	――	四球	――
3(中) 鹿子島	5	2	1	1	中飛	――	右前	――	三飛	遊ゴ	――	左中三	――
4 DH 米倉	5	1	1	1	中飛	――	三振	――	左本	――	三ゴ	三振	――
5(遊) 塩田	4	1	1	2	――	遊失	ニゴ	――	三振	――	左前	左犠飛	――
6(二) 三井	2	1	0	1	――	投犠打失	四球	――	中前	――	遊ゴ	――	――
二 仁田	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	三振	――
7(一) 村山	3	2	1	1	――	四球	三ゴ	――	中前	――	左二	――	――
8(三) 今野	3	0	0	0	――	三振	――	二飛失	ニゴ	――	死球	――	――
9(捕) 岡芹	3	1	1	0	――	三邪飛	――	投犠打	――	三振	中前	――	――
	計 35	10	7	7					盗塁／三井、鹿子島				

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
嶋田	2 2/3	13	39	8	0	0	2
藤谷	6 1/3	23	95	2	7	3	0

ゴールドジムは2回に1点を先制されるとその裏、走者2.3塁から田中の適時二塁打で2点を返します。(G2-1Y)
しかし先発嶋田は3回にも1点を失い同点とされると、ベンチは早々と動き藤谷に交代。藤谷は4.5回を危なげなく抑えると打撃陣もその好投に応えます。

5回 米倉がインコースを巧くさばき、レフトスタンドへソロ本塁打を放つとこれがチームに勢いを与え、7回にも村山、岡芹の適時打で2点。(G5-2Y)

8回には鹿子島の適時三塁打、塩田の犠飛で2点を加え、積極的な走塁も絡め試合を優位に進めます。(G7-2Y)

投げては2回からマウンドに上がった藤谷が速球を武器に散発の2安打、三者連続を含む7奪三振の好救援で代表決定戦へと進みました。



藤谷は速球を武器に、散発の2安打 三者連続を含む7奪三振の好投



同点で迎えた5回、米倉のソロ本塁打が均衡を破った。頼れる四番は健在



田中は2回に同点打となる適時二塁打を放つ



三井は中前安打。守備でも好守を魅せる



塩田は1安打。
守備では再三の好守で藤谷をもり立てた



鹿子島は8回に、二塁打性の当たりを三塁打にする好走塁

7 GOLD'S GYM ×6 千葉熱血making

村山 9回2死から 2年連続 本大会出場を決める

逆転 サヨナラ 満塁本塁打



本塁打の村山
9回裏2アウト満塁の場面、村山は高めの球を強振。
3点差をひっくり返す逆転満塁弾

2016年7月30日 足利市総合運動公園

第41回全日本クラブ野球選手権大会 関東大会 代表決定戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
千葉熱血making	2	0	1	0	0	0	2	0	1	6	11	1
GOLD'S GYM	2	0	0	0	0	0	1	4	×	7	13	1

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(右) 田中	4	1	0	1	左前	三ゴ	――	四球	――	三直	――	中飛	――
2(左) 川島	5	1	0	0	―ゴ	左前	――	左飛	――	――	三ゴ	――	中飛
3(中) 鹿子島	5	3	0	2	右前	中飛	――	――	三安	――	三振	――	中前
4 DH 米倉	4	1	2	1	中前	――	三振	――	右飛	――	左飛失	――	四球
5(遊) 塩田	5	2	0	1	左飛	――	中前	――	中飛	――	―ゴ	――	右前
6(二) 三井	4	2	0	1	中前	――	遊ゴ	――	ニゴ	――	――	左前	――
二 仁田	0	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	――
PH 河西	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	二飛
7(一) 村山	5	2	4	1	三ゴ	――	――	左前	――	三失	――	右飛	左本
8(三) 本田	0	0	0	0	――	――	――	補犠打	――	――	――	――	――
PH 一重	1	0	0	0	――	――	――	――	――	中飛	――	――	――
三 今野	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	遊ゴ	――
9(捕) 岡芹	3	1	1	0	――	死球	――	―ゴ	――	―ゴ	――	右前	――
計	42	13	7	7	盗塁／鹿子島								

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
石川	0 1/3	4	15	2	0	1	2
星野	8 2/3	35	145	9	8	2	2

ゴールドジム初回に2点を奪われます。(G0-2C)

その裏、田中が左前安打で出塁すると、鹿子島は右前安打で、守備の隙をつき一気に二塁を陥れ、2.3塁の好機。米倉が中前へ2点適時打を放ち、四番の役割を果たします。(G2-2C)

7回 星野は二点を許すも、その裏、GGは安打で出塁した三井を三塁におき、岡芹の適時打で一点を返します。(G3-5C)

ついに最終回を迎え、ここでも一点を追加され、後がないGG。(G3-6C)

9回に1アウトの後、鹿子島が安打で出塁すると米倉が四球を選び、続く塩田も安打で満塁としなおも2アウト満塁で打者は村山。

3球目の高めに入った甘い球見逃さず強振すると、打球レフトスタンドへ一直線。打った瞬間それとわかる逆転満塁本塁打となりました。

9回2アウトまで3点差と劣勢ながら最後まで諦めず粘り、最後には3点差をひっくり返す村山の逆転満塁弾という劇的な幕切れとなりました。

9月2日より西武プリンスドームで行われる本大会へ関東代表として2年連続の出場となりました。





猛暑の中、145球を投げ抜いた星野



初回、中前2点適時打を放つ四番米倉



鹿子島はこの日3安打、1盗塁の活躍



猛暑の中 体力を消耗しながらも2試合でマスクを被った岡芹。打撃でも1安打の岡芹



守備陣も投手陣の頑張りに身体を張って応えた



先発の藤谷
先発の藤谷は6回を投げ6安打、3失点と試合を作った



2×5 GOLD'S GYM 県警桃太郎

レフトスタンド中段へ飛び込む先制本塁打を放つ米倉
初回、米倉はインコースを高めを強振。レフトスタンド中段へ飛び込む先制の2点本塁打を放つ

初回米倉の特大本塁打で先制するも中盤以降あと一本がでず初戦敗退

2016年9月2日 西武プリンスドーム

第41回全日本クラブ野球選手権大会 全国大会

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
県警桃太郎	0	0	0	0	3	0	2	0	0	5	7	0
GOLD'S GYM	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	2

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(遊) 塩田	3	1	0	0	三邪飛	――	右前	――	四球	――	中飛	――	――
2(左) 川島	4	1	0	1	右前	――	三振	――	左直	――	左直	――	――
3(中) 鹿子島	4	0	0	0	遊ゴ	――	三振	――	――	遊ゴ	――	二ゴ	――
4 DH 米倉	3	1	2	1	左本	――	――	遊ゴ	――	四球	――	右飛	――
5(右) 田中	4	1	0	0	投ゴ	――	――	遊ゴ	――	中安	――	遊ゴ	――
6(二) 三井	3	0	0	0	――	三振	――	右飛	――	一ゴ	――	――	――
二 仁田	0	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	――
PH 広沢	1	1	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	左安
PR 本田	0	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	――
7(一) 村山	4	0	0	0	――	遊ゴ	――	――	左飛	三振	――	――	三併殺
8(捕) 岡芹	2	0	0	0	――	遊ゴ	――	――	中飛	――	――	――	――
PH 河西	2	0	0	0	――	――	――	――	――	――	遊ゴ	――	遊ゴ
9(捕) 今野	3	2	0	0	――	――	三ゴ	――	中前	――	左二	――	――
計	33	7	2	2	盗塁／塩田、今野								

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
藤谷	6 0/3	30	123	6	6	6	3
星野	3 0/3	10	29	1	1	0	0

ゴールドジムは初回、2アウトから安打の川島を二塁におき、4番米倉が7球目、インコース高めを強振すると、左翼中段へ運ぶ2点本塁打で先制します。(G2-K0)

先発の藤谷は、角度のある速球に緩急を交えコーナーに丁寧に投げ分ける投球を続けるも5回、先頭打者に安打を許すと、続けて四球、三塁バント安打を許し満塁としたところで、4番に左中間へ走者一掃の適時二塁打を浴び3点を奪われ逆転されます。(G2-K3)

7回には先頭打者に死球を与え、さらに味方守備の乱れから2、3塁としたとこで星野に交代します。代わった星野は、犠牲フライなどで2点を奪われるも後続を断ちます。(G2-K5)

後がないGGは7回、左前安打の今野が相手守備の隙をつき、一挙に2塁を陥れ得点のチャンスを作ります。しかし2アウトから、川島が放った左翼へヒット性の当たりも相手守備の正面をつきこの回も得点につながりません。

9回代打の広沢が左前に痛烈な安打を放ち、逆転が期待されるも、あと一本が出ず試合終了となりました。



7回より登板の星野は3回を1安打と好投



平日にも関わらず大応援が見事な応援でスタンドを盛り上げてくれました



初回、川島が右前安打で出塁



3回 右前安打で出塁した塩田。この後盗塁も決める



今野は8回に、単打を放つと相手守備の隙をつき二塁打にする好走塁



今野は8回に、単打を放つと相手守備の隙をつき二塁打にする好走塁



先発の嶋田
先頭打者に四球を与えるなど
リズムをつかめず、3回を持たず
マウンドを降りた

響いた序盤の失点 最終回粘るも 悔しい初戦敗退

2016年5月1日 府中市民球場

第87回都市対抗野球大会 東京都一次予選

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	
エスプライド 鉄腕硬式野球部	1	0	1	1	0	0	1	0	0	4	11	0
GOLD'S GYM	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	10	0

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(右) 田中	2	1	0	0	四球	四球	――	左安	――	――	中飛	――	――
PH 一重	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	中飛
2(左) 川島	3	1	0	0	投犠打	中飛	――	死球	――	――	投ゴ	――	左安
3(中) 鹿子島	5	2	0	0	左飛	――	左飛	三振	――	――	右安	――	右安
4 DH 米倉	4	1	1	0	三振	――	――	右安	遊飛	――	三ゴ	――	左犠飛
5(一) 長谷川	3	0	0	0	――	左飛	―ゴ	――	ニゴ	――	――	――	――
三 上田	0	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	四球	――
PH 久慈	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	―ゴ
6(三) 村山	3	0	0	1	――	四球	三振	――	中飛	――	――	右飛	――
7(二) 塩田	4	2	0	0	――	左二	――	三飛	――	中飛	――	左安	――
8(遊) 今野	4	3	1	0	――	右安	――	中安	――	中安	――	三振	――
9(捕) 岡芹	3	0	0	0	――	遊飛	――	投ゴ	――	遊ゴ	――	――	――
PH 三井	0	0	0	1	――	――	――	――	――	――	――	――	四球
計	33	10	2	2									

盗塁:今野

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
嶋田	2 2/3	15	56	5	0	3	2
星野	6 1/3	42	109	6	8	3	2

ゴールドジムは2回、四球の村山、二塁打の塩田を2.3塁のチャンスで、今野が右前へ巧く運び同点とします。この後、満塁とするも得点に繋がらず。
その裏、嶋田は単打と死球から適時打を許し追加点を奪われると、投手は星野に交代しこの回を切り抜けます。

しかし星野は、4回に四球と単打から2.3塁とされると適時打を許し1点を許します。

GGもその裏、今野、田中らの安打から満塁とするも。またも要所を締められ得点に繋がりません。

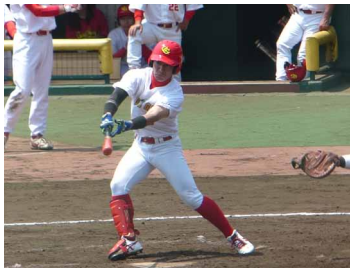
星野は、その後はバックの好守もあり好投を続けるも、7回に本塁打を浴び1点を追加されます。
そして、迎えた9回。四球の三井、川島、鹿子島の連打で1アウト満塁とすると、米倉の犠牲フライで1点を返します。なおも2アウト2.3塁とし、ベンチは逆転打を期待し代打久慈をバッターボックスに送り出します。しかし、打球は一塁ゴロとなり、一塁へ気迫のヘッドスライディングも試合終了となりました。


2回、今野の右前適時打で同点に追いつく
今野はこの後も安打を重ね、3安打


2回、塩田がレフトへ二塁打を放つ。8回にも安打


4回鹿子島は満塁で三振に倒れるも、その後に好守を魅せ、7回と9回に安打を放つ


3回途中から登板の星野は、本調子ではないものの最後まで投げ抜いた


9回、1アウトから川島はレフト前に運ぶ


9回、米倉の犠飛で1点を返すも後続を断たれる



5安打と
気を吐いた米倉
試合には敗れるも
5の5と打てばヒットの
猛打賞



本塁打を見送る川島
4回 走者を2人おき、
左翼へ3点本塁打を許す。
打球を追うもスタンドイン

7×9 GOLD'S GYM エスプライド 鉄腕硬式野球部

先制するも 相手打線の勢いを止められず

2016年9月10日 府中市民球場

2016東京都クラブ秋季大会

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
エスプライド 鉄腕硬式野球部	1	0	0	3	0	0	2	0	3	9	12	3
GOLD'S GYM	2	2	0	0	2	1	0	0	0	7	14	1

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(三) 三井	2	1	0	1	四球	三振	――	左安	――	――	――	――	――
― 村山	1	0	0	0	――	――	――	――	――	三振	――	四球	――
2(左) 川島	4	1	2	1	投犠打	遊失	――	――	四球	右安	――	―ゴ	――
3(一)ニ 塩田	5	1	1	1	右二	―ゴ	――	――	中飛	――	―失	――	―ゴ
4 DH 米倉	5	5	2	1	左二	――	中安	――	左中二	――	左安	――	左安
5(右) 田中	5	2	1	0	遊ゴ	――	左安	――	左安	――	二直	――	遊ゴ
6(中) 鹿子島	3	0	0	0	中飛	――	中飛	――	四球	――	中飛	――	――
7(捕) 岡芹	3	1	0	1	――	左中二	投ゴ	――	遊ゴ	――	――	四球	――
8(遊) 今野	4	2	1	1	――	左二	――	左安	――	中飛	――	二ゴ	――
9(二)三 仁田	2	0	0	0	――	二ゴ	――	遊ゴ	――	――	――	――	――
PH 広沢	1	1	0	1	――	――	――	――	――	左二	――	――	――
PH 河西	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	三振	――
計	36	14	7	7	盗塁／塩田、田中								

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
嶋田	5	22	95	4	6	1	2
石川	1	6	30	0	1	3	0
西垣	0	1	3	1	0	0	1
藤谷	0	3	14	1	0	1	1
星野	3	15	53	5	3	1	3

ゴールドジムは序盤、この日5安打と猛打賞の米倉、好機に勝負強さをみせる今野らの適時打で試合を優位に進める。

4回、先発の嶋田は味方の拙攻などもあり、走者を2人おき、6番打者に投じた初球をレフトスタンドへ運ばれ同点とされ、マウンドをおります。

その裏、5、6回には田中の適時打、川島の適時打で逆転し流れはGGへ。しかし、7回に代わった投手陣が相手打線の勢いを止められず、2点を許し、9回にも駄目押しとなる3点を許します。

安打数では上回るGGは、最終回に望みを託す2アウトから4番の米倉は全打席安打となる5安打目を放つも、後続が続かず好機にあと1本がでず悔しい敗退。

今シーズン、都市対抗初戦敗退に続き、秋季大会も鉄腕に初戦敗退と辛酸をなめる結果となりました。



初回 塩田の適時二塁打で先制をする



川島は6回に適時打を放つ



2回 左中間へ二塁打を放つ岡芹



今野はこの日2安打



田中は5回に適時打



先発嶋田は3点本塁打を許すも、5回は4安打、6奪三振の内容。

3 GOLD'S GYM ×6 読売ジャイアンツ



2失点に抑える北見
先発の北見は7安打を許すも、要所を締め6回と2分の1を2失点に抑える好投



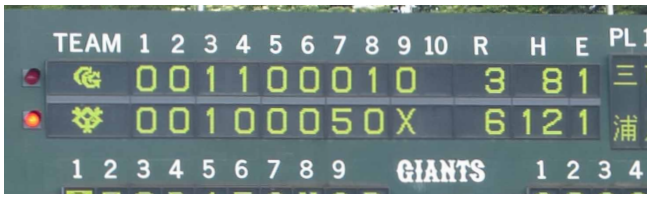
岡芹は2安打とその巧打を存分に発揮した
得点の足がかりを作った岡芹は2安打、1打点

2016年6月12日 読売ジャイアンツ球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
GOLD'S GYM	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3	8	1
読売ジャイアンツ3軍	0	0	1	0	0	0	5	0×		6	12	1

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(右) 田中	5	1	0	0	三振	――	右前	三振	――	――	右邪飛	――	三振
2(左) 川島	3	2	0	1	四球	――	右前	――	遊失	――	――	二安	――
3(中) 鹿子島	3	1	1	0	左飛	――	四球	――	ニゴ	――	――	左前	――
4 DH 米倉	3	0	0	0	三振	――	三振	――	右飛	――	――	死球	――
5(三) 村山	4	0	0	0	――	三ゴ	遊ゴ	――	――	三振	――	三振	――
二 仁田	0	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	――
6(二) 三井	3	2	1	1	――	四球	――	中安	――	三振	――	投安	――
7(一) 河西	3	0	0	0	――	三振	――	投犠打	――	三振	――	ニゴ	――
8(捕) 本田	3	0	0	0	――	――	ニゴ	左直	――	――	三ゴ	――	――
PH 一重	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	三振
9(捕) 岡芹	4	2	1	1	――	――	中前	左中二	――	――	三振	――	中飛
計	32	8	3	3									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
北見	6 1/3	30	111	7	3	3	2
嶋田	0 1/3	5	13	4	0	0	3
藤谷	1 1/3	5	15	1	0	1	0



0対0で迎えた3回表、ゴールドジムの攻撃。岡芹、田中、川島の安打で満塁とすると、鹿子島が四球を選び、押し出しで1点を先制します。(G1-0Y)

GGの先発は左腕の北見。先制点を奪ったその裏、2アウトから打ち取ったかと思われた3塁ゴロを、この日三塁の守備に入った村山が痛恨のトンネルで1点を返されます。(G1-1Y)

しかしGGは4回にも三井が安打で出塁すると、河西が手堅く犠打を決め、続く岡芹は左中間に鮮やかな適時打を放ち、追加点を奪います。(G2-1Y)

その後は先発の北見が6回まで散発の5安打に抑える好投を見せます。しかし疲れの見えた7回、先頭打者に左前安打を許すと、3番に適時二塁打を許し同点とされたところで投手は嶋田に交代。その嶋田は、かわりっぱなに連続して長単打を浴び、さらに味方の拙守もあり、4失点を喫します。その後は、代わった藤谷が締めます。(G2-6Y)

8回、川島、鹿子島の連打でチャンスを作ると、三井の安打で1点を返します。なおも満塁のチャンスとするも後続が倒れ、最終回も得点するにいたらず試合終了となりました。

先制し序盤優位に立ち、北見が好投を見せるも、味方の拙守などで失点を喫し、さらに打線も二度の満塁の好機に得点につなげられず課題の残る試合内容となりました。





プロ・アマ交流戦
1勝の壁はまだ高く



右前安打を放つ田中



8回に左前安打を放つ鹿子島



三井は2安打1打点と得点に絡む活躍を見せる



川島も2安打を放ち、チャンスメイクした



好投の藤谷
打者5人に対して1安打の投球







1×9 GOLD'S GYM 楽天ゴールデンイーグルス

9安打放つも 3被弾 プロの力に屈す

3回 左前安打の岡芹
岡芹はアウトコースの球を巧くあわせて左前に運ぶ

2016年9月22日 楽天泉練習場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
GOLD'S GYM	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	9	0
楽天ゴールデンイーグルス2軍	1	0	3	0	1	0	4	0	×	9	9	0

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(右) 塩田	4	1	1	0	中飛	――	左飛	――	二ゴ	――	――	左安	――
2(左) 川島	3	0	0	0	遊ゴ	――	一ゴ	――	――	三振	――	――	――
左 広沢	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	左直	――
3(中) 鹿子島	4	0	0	0	遊ゴ	――	――	三飛	――	三振	――	三振	――
4 DH 米倉	4	0	0	0	――	二直	――	三ゴ	――	二ゴ	――	三振	――
5(右) 田中	4	3	0	0	――	中安	――	右中二	――	――	左安	――	三振
6(二) 三井	3	0	0	0	――	三ゴ	――	遊ゴ	――	――	三振	――	――
二 仁田	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	三振
7(一) 村山	4	2	0	0	――	――	投ゴ	――	左二	――	中二	――	三振
8(捕) 岡芹	2	1	0	0	――	――	左安	――	遊飛	――	――	――	――
捕 河西	1	0	0	0	――	――	――	――	――	――	三ゴ	――	――
9(三) 今野	3	2	0	1	――	――	中安	――	一ゴ	――	――	左二	――
計	34	9	1	1									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
嶋田	3	15	63	3	2	2	4
鈴木	3	11	42	2	0	1	1
西垣	0	1	6	0	0	1	1
吉田	0	1	5	0	0	1	1
石川	0 1/3	2	12	1	0	0	1
藤谷	1 2/3	7	31	3	1	1	1

ゴールドジム先発嶋田は初回に1点を失うと、4回にも3点を失います。続けてマウンドに上がった鈴木は3回を2安打1失点と好投を見せるも後続の投手陣もそれぞれ1点づつ失い7回を終わって9対0。

ここで、終われないGG打線は、今野の左二塁打から、塩田の左前適時打で1点を返します。

その裏もなお、反撃が期待されましたが、楽天の好投手陣に抑え込まれ、力の差を見せつけられる結果となりました。

楽天打線に本塁打3本を含む9点を奪われるも、4回から登板した鈴木の好投、打線は田中が3安打、今野も2安打するなどでチームとしては楽天と同安打数となる9安打を放つなど、非常に収穫のある貴重な試合となりました。





3回を1失点と好投の鈴木



2安打の今野

2016年10月21日 皇子山球場

JABAびわこ杯

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
MTG島根	0	0	0	0	0	0	0			0	3	1
GOLD'S GYM	0	3	0	0	0	0	4	×		7	11	0

※規定により７回コールド

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(一) 広沢	3	2	1	1	左二	左安	ーー	ーゴ	ーー	四球	ーー		
2(左) 川島	4	1	2	0	三振	右二	ーー	左飛	ーー	投ゴ	ーー		
3(中) 鹿子島	2	1	0	1	四球	四球	ーー	ニゴ	ーー	ーー	右安		
4DH 米倉	4	1	0	1	遊飛	右飛	ーー	ーー	投ゴ	ーー	二安		
5(右) 田中	3	1	0	1	右安	中飛	ーー	ーー	二失	ーー	四球		
6(三) 三井	4	1	1	1	中飛	ーー	ーゴ	ーー	三振	ーー	左安		
7(遊) 今野	4	0	1	0	ーー	ニゴ	右飛	ーー	遊ゴ	ーー	二失		
8(捕) 河西	4	3	2	1	ーー	左安	左中二	ーー	ーー	中飛	中安		
9(二) 仁田	2	1	0	1	ーー	左安	三振	ーー	ーー	ニゴ	ーー		
計	30	11	7	7									

盗塁／田中、広沢、鹿子島

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
嶋田	7	26	91	3	8	3	0



GG先発の嶋田は安定した投球で得点を許しません。すると、2回 河西、仁田、広沢、川島の3連打で3点を先制。7回にも鹿子島からはじまる打順で四球を挟み4連打で4点と集中打で得点を重ねます。

その裏も嶋田が危なげなく抑え、投打がかみ合い7回コールドゲームで勝利し2回戦に駒を進めました。





2016年10月22日 皇子山球場

JABAびわこ杯

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
GOLD'S GYM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
NSBベースボールクラブ	0	0	0	1	0	1	0	1	0×	2	5	2

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(一) 広沢	4	0	0	0	遊ゴ	ーー	ーー	ーー	ーー	投ゴ	ーー	ーー	三飛
2(左) 川島	4	1	0	0	ーゴ	ーー	ーー	遊直	ーー	ーー	投ゴ	ーー	中安
3(中) 鹿子島	4	1	0	0	二安	ーー	ーー	ニゴ	ーー	ーー	三振	ーー	中飛
4DH 米倉	3	0	0	0	三ゴ	ーー	ーー	右飛	ーー	ーー	三振	ーー	ーー
5(右) 田中	3	0	0	0	ーー	三振	ーー	ーー	遊ゴ	ーー	ーー	三振	ーー
6(三) 三井	3	1	0	0	ーー	三振	ーー	ーー	遊ゴ	ーー	ーー	中安	ーー
7(遊) 今野	3	0	0	0	ーー	三振	ーー	ーー	三失	ーー	ーー	右飛	ーー
8(捕) 河西	3	0	0	0	ーー	ーー	遊ゴ	ーー	ーー	三振	ーー	ーー	二失
9(二) 仁田	2	0	0	0	ーー	ーー	ーゴ	ーー	ーー	遊ゴ	ーー	ーー	ーー
PH 村山	1	0	0	0	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー	三振
計	34	3	0	0									

盗塁／

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
一重	7	27	103	5	4	3	2
藤谷	0	5	17	0	0	3	0
嶋田	0 1/3	1	4	0	0	0	0
石川	1	4	17	2	0	0	0

昨年は2回戦で敗退しているだけに、今年度は2回戦の壁を突破する事が期待されました。

しかし、全国レベルの強豪が集まる本大会の2回戦の壁は厚く、GG打線は相手投手から安打を奪えず、終わってみれば散発の3安打。

投手陣は先発の一重が7回まで好投を見せるも惜しくも、完封負けを喫しました。

関西エリアの皆様、応援ありがとうございました。





2016年6月11日 駒沢オリンピック公園硬式野球場

東京都クラブリーグ戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
GOLD'S GYM	0	0	1	0	2	4	0	0	4	11	9	2
弥生クラブ	0	0	0	1	0	0	0	1	×	2	9	2

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	6	7	8	9
1(三) 三井	3	0	0	3	四球	――	遊ゴ	――	三失	死球	――	中飛	――	四球
2(左) 三上	1	0	3	1	四球	――	四球	――	四球	右犠飛	――	左飛	――	四球
3(中) 一重	5	5	4	2	四球	――	右安	――	右二	右二	――	――	右二	左中二
4(右) 広沢	5	0	0	0	二飛	――	遊ゴ	――	右飛	三ゴ	――	――	三振	――
PH 中沢	1	1	0	2	――	――	――	――	――	――	――	――	――	右安
5(捕) 河西	6	1	2	0	中飛	――	一飛	――	ニゴ	左安	――	――	ニゴ	左飛
6(一) 久慈	3	0	0	0	――	左飛	――	中飛	四球	四球	――	――	ニゴ	――
7(遊) 本田	4	2	0	0	――	一飛	――	左安	一飛	四球	――	――	――	右二
8(二) 仁田	3	1	0	2	――	死球	――	中飛	――	左安	ニゴ	――	――	死球
9 DH 手塚	5	1	0	1	――	遊ゴ	――	捕飛	――	右安	――	捕飛	――	投飛
	計	36	11	9	11									

盗塁／三井2、河西、久慈

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
石川	3	11	40	2	1	1	0
西垣	1	5	11	2	0	0	1
鈴木	1	5	16	1	0	2	0
有光	1	4	8	0	0	0	0
中川	1	3	8	0	1	0	0
吉田	1	6	13	2	1	0	0
佐藤	1	5	24	1	0	1	0

2016年6月18日 駒沢オリンピック公園硬式野球場

東京都クラブリーグ戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
TOKYO METS	0	1	0	5	0	0	4			10	17	2
GOLD'S GYM	4	0	0	0	1	0	3			8	12	3

※7回打ち切り

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(中) 一重	4	2	0	2	左安	左飛	――	――	中安	右飛	――	――	――
2(左) 三上	3	1	0	1	中安	投ゴ	――	――	三ゴ	――	――	――	――
左 川島	1	0	0	1	――	――	――	――	――	――	――	一失	――
3(三) 村山	4	2	3	1	三振	――	投ゴ	――	左二	――	本塁打	――	――
4(一) 広沢	4	1	0	0	左飛	――	左飛	――	遊ゴ	――	左安	――	――
5(捕) 河西	3	1	3	2	左安	――	四球	――	中飛	――	遊ゴ	――	――
6(一) 久慈	4	2	0	1	右中二	――	左飛	――	――	中安	左飛	――	――
7(遊) 本田	3	0	0	0	遊失	――	――	投ゴ	――	三振	四球	――	――
8(二) 仁田	4	2	1	0	ニゴ	――	――	右安	――	ニゴ	中安	――	――
9 DH 手塚	4	1	0	0	――	ニゴ	――	遊ゴ	――	左安	三ゴ	――	――
	計	34	12	7	8								

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
嶋田	3 2/3	22	69	9	0	0	4
石川	3	15	49	6	2	1	4
西垣	0 1/3	3	12	2	0	0	0

2016年7月24日 駒沢オリンピック公園硬式野球場

東京都クラブリーグ戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
東京好球倶楽部	0	1	0	1	0	0	0	3	0	5	9	9
GOLD'S GYM	0	0	0	0	0	2	0	4		6	5	3

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(遊) 本田	3	1	1	1	三ゴ	――	中飛	――	四球	――	左二	――	――
PH 田中	0	0	0	1	――	――	――	――	――	――	――	――	四球
2(左) 三上	2	0	0	0	一ゴ	――	四球	――	三振	――	――	――	――
左 川島	1	1	1	1	――	――	――	――	――	――	中二	――	四球
3(右) 広沢	2	0	0	0	四球	――	遊ゴ	――	――	三飛	四球	――	――
PH 三井	1	1	1	1	――	――	――	――	――	――	――	――	右安
4(一) 村山	3	1	0	0	死球	――	――	中飛	――	右安	ニゴ	――	――
捕 岡芹	0	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	四球
5(中) 一重	3	0	1	0	四球	――	――	ニゴ	――	一ゴ	――	遊失	死球
6(三) 今野	3	0	0	0	三ゴ	――	――	四球	――	三直	――	ニゴ	右犠飛
7(捕)－河西	4	1	0	1	――	投ゴ	――	遊飛	――	――	左安	三ゴ	――
8(二) 仁田	3	1	0	0	――	左安	――	――	四球	――	ニゴ	――	――
PH 塩田	0	0	0	1	――	――	――	――	――	――	――	――	四球
9 DH 手塚	3	0	0	0	――	右飛	――	――	ニゴ	――	三振	――	――
PH 鹿子島	0	0	0	0	――	――	――	――	――	――	――	――	右犠飛
	計	28	6	4	6								

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
有光	5 1/3	24	101	4	4	4	2
西垣	1 2/3	7	35	0	1	1	0
鈴木	1 2/3	3	21	0	1	2	1
吉田	0	2	8	1	0	0	2
石上	1 1/3	5	17	0	1	1	0

2016年7月24日 駒沢オリンピック公園硬式野球場

東京都クラブリーグ戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
GOLD'S GYM	1	0	2	4	1	1	0	7		16	9	0
REVENGE99	0	0	0	3	0	0	0	0	×	3	4	2

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	8
1(右) 田中	4	3	2	3	四球	――	左安	左二	四球	――	中安	遊飛	――
2(左) 川島	5	2	1	2	ニゴ	――	中二	四球	遊ゴ	――	中飛	右安	――
3(中) 鹿子島	5	3	4	2	左二	――	中飛	右安	――	四球	三振	中二	――
4 DH 米倉	6	1	3	0	中飛	――	中飛	三振	――	中二	――	遊失	左失
5(一) 塩田	6	0	0	1	一ゴ	――	右飛	遊ゴ	――	中飛	――	投ゴ	遊ゴ
6(三) 三井	3	1	0	3	――	ニゴ	――	四球	四球	中飛	――	左安	――
7(遊) 本田	0	0	0	2	――	四球	――	四球	－犠打	四球	――	死球	――
8(捕) 岡芹	3	1	1	1	――	左安	――	投犠打	遊ゴ	投ゴ	――	四球	――
9(二) 仁田	4	2	3	2	――	遊ゴ	――	右安	四球	――	遊直	中安	――
	計	36	13	14	16								

盗塁／三井

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
石川	4 2/3	17	58	1	4	2	3
石上	0 1/3	3	10	2	0	0	0
星野	3	12	50	1	5	2	0

2016年11月 5日 駒沢オリンピック公園硬式野球場

東京都クラブリーグ戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	
GOLD'S GYM	0	4	0	0	0	0	1	1	●	6	1	0
警視庁	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	9	1

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(一) 広沢	5	1	2	0	遊ゴ	中安	ーー	三邪飛	ーー	遊ゴ	ーー	ーー	三ゴ
2(左) 川島	5	1	0	0	二ゴ	四球	ーー	二ゴ	ーー	ーー	投ゴ	ーー	一安
3(中) 鹿子島	4	2	0	1	中安	中犠飛	ーー	ーー	右飛	ーー	三振	ーー	右安
4(右) 田中	5	1	0	0	右飛	遊ゴ	ーー	ーー	二飛	ーー	ーゴ	ーー	中安
5(三) 三井	5	3	1	1	ーー	左安	投ゴ	ーー	左安	ーー	ーー	投ゴ	右安
6(捕) 河西	5	2	1	2	ーー	右中二	遊失	ーー	二飛	ーー	ーー	左安	三振
7(遊) 今野	4	2	1	1	ーー	右安	右飛	ーー	ーー	左安	ーー	遊飛	ーー
8(二) 仁田	3	1	1	1	ーー	捕犠打	ーゴ	ーー	ーー	ーゴ	ーー	一安	ーー
9 DH 手塚	4	0	0	0	ーー	捕ゴ	ーー	二ゴ	ーー	三振	ーー	一飛	ーー
計	41	13	6	6									

盗塁／三井、河西

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
石川	3 1/3	12	53	0	2	2	1
西垣	1 2/3	6	21	1	0	0	0
鈴木	0 2/3	2	8	0	0	1	0
石上	0	1	2	0	0	0	0
北見	0	2	10	0	0	2	0
佐藤	2	7	25	1	1	0	0
一重	1	3	12	0	1	0	0
吉田	0 1/3	1	1	0	0	0	0



























クラブリーグ最終戦 今季3度目にして鉄腕に逆転勝利!!

2016年12月 4日 駒沢オリンピック公園硬式野球場

東京都クラブリーグ戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
エスプライド 鉄腕硬式野球部	0	2	0	5	1	4	0	0	0	1	13	21	1
GOLD'S GYM	1	0	1	0	5	1	0	2	2		14	16	0

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1(一) 田中	3	1	0	2	左安	ーー	四球	三振	三振	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー
捕 岡芹	2	1	0	0	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー	右安	四球	中飛	ーー
2(左) 川島	5	1	1	1	二ゴ	ーー	投犠打	ーー	右安	投ゴ	左飛	左飛	ーー	四球
3(中) 鹿子島	7	3	2	2	一ゴ	ーー	一ゴ	ーー	左安	中安	遊飛	ーー	一ゴ	中安
4(ー)右 広沢	5	3	2	2	中安	ーー	捕飛	ーー	左安	死球	ーー	右中二	三邪飛	ーー
5(三) 三井	4	1	1	3	遊ゴ	ーー	ーー	中飛	遊ゴ	死球	ーー	右二	死球	ーー
6(捕)ー河西	4	2	1	2	ーー	一飛	ーー	中安	四球	左犠飛	ーー	三ゴ	左二	ーー
7(遊) 今野	4	1	0	0	ーー	一ゴ	ーー	遊ゴ	四球	遊ゴ	ーー	左安	四球	ーー
8(二) 仁田	2	2	2	1	ーー	四球	ーー	四球	左安	ーー	四球	右安	四球	ーー
9 DH 手塚	5	1	1	0	ーー	一ゴ	ーー	中安	投ゴ	ーー	三振	三振	四球	ーー
PR 本田	0	0	0	1	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー	ーー
計	41	16	10	14										

盗塁／三井、河西

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
鈴木	3 2/3	20	73	6	1	4	7
一重	1 1/3	10	34	6	0	1	1
吉田	0 1/3	5	11	4	1	0	4
石川	0	1	5	1	0	0	0
西垣	0 1/3	1	5	0	0	0	0
嶋田	4 1/3	18	44	4	3	0	1

今季最終戦は、都市対抗、クラブ秋季大会と二度苦杯を喫している鉄腕硬式野球部。一矢を報いたいところ。

先制はGG。しかし、2回に逆転を許すと次々とつぎこまれるGG投手陣をとらえ、中盤には大量得点を奪れます。

これに、GG打撃陣も反撃します。

5回には中軸打線の集中打で5点を奪うと、終盤には相手投手陣をとらえ、8回以降は毎回得点。広沢、三井、河西らの長短打含む猛攻で同点に追いつきます。

9回で決着がつかず、タイブレークに突入すると3番の鹿子島がセンター前に適時打を放ち勝負が決まりました。

今季最終戦、乱打戦を制しリベンジを果たしました。


鹿子島は大事な場面で期待に応える打撃


4回 中前にクリーンヒットの手塚PM


捕手の河西は2安打の活躍


8回に二塁打を放つ三井

第6回東日本大震災 復興支援チャリティーマッチ



広沢の先頭打者本塁打

ゴールドジム広沢の先頭打者本塁打で幕を開けたこの試合。広沢は6打数6安打の猛打賞



2016年10月29日 船橋市民野球場

チャリティーマッチ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
GOLD'S GYM	2	2	0	0	1	0	0	0	0	8	21	0
ALL NATIONS	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3	4	3

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(一) 広沢	6	6	2	3	左本	中安	左安	――	右安	――	左安	――	右安
2(左) 川島	4	2	0	1	三安	投犠打	遊直	――	三邪飛	――	一安	――	投犠打
3(中) 鹿子島	6	2	1	1	左安	投ゴ	――	三振	――	中飛	三振	――	右安
4 DH 米倉	3	1	2	0	一邪飛	右安	――	捕飛	――	――	――	――	――
PH 手塚	3	1	0	0	――	――	――	――	――	右安	――	右ゴ	二飛
5(右) 田中	3	3	1	1	一失	遊安	――	右飛	――	中安	――	捕飛	中二
6(三) 三井	6	3	2	0	右安	二ゴ	――	――	投ゴ	四球	――	左二	右安
7(捕) 河西	6	0	0	0	三振	――	左直	――	左飛	三振	――	遊失	投ゴ
8(遊) 今野	5	2	0	1	遊ゴ	――	中安	――	左安	二飛	――	捕邪飛	――
9(二) 仁田	5	2	0	1	――	右安	三振	――	中安	――	左飛	――	一失
計	47	21	8	8									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
嶋田	3 2/3	24	98	4	3	3	2
鈴木	1 1/3	2	11	0	0	1	1
西垣	0 1/3	1	5	0	0	1	0
一重	0	14	65	3	2	3	0



白熱した試合展開!! マスコットキャラも登場!! 小中学生をグラウンドに招き入れ野球教室も開催

船橋市総合運動公園(船橋市夏見台6)内の市民野球場で10月29日、東日本大震災の復興支援チャリティーマッチが行われました。今回ゴールドジムが対戦したのは、国籍や人種にとらわれずに海外や日本のリーグでプレー経験のあるメンバーとともに新しいイベントを行う趣旨で設立されたチームALL NATIONS。

当日、スタンドには飲食店や土産物店計7店が並び、千葉県を模したマスコットキャラクターの「チーバくん」や世界中を旅しながらフェイスブックなどを通じて世界の野球を紹介している「ジャパンダ」が登場するなどの余興も挟みました。

試合はゴールドジムが終始リードし8対6で勝利。試合終了後は、野球部やチーム所属の小中学生をグラウンドに招き入れ野球教室を実施するなど、参加型イベントとして非常に盛り上がりを見せました。



6回 中前安打を放つ手塚PM



先発嶋田は安定した投球を見せた



平日にも関わらず多くの方にご来場頂きました



千葉県マスコットのチーバくん

2016年　個人成績

●公式戦 打撃成績（クラブリーグ除く。プロアマ交流戦、チャリティーマッチ含む）

名前	打率	打席	打数	安打	単打	二塁	三塁	本塁	打点	得点	四死球	三振	犠打	犠飛	盗塁	試合数
今野　翔太	.455	36	33	15	10	5	0	0	4	2	2	3	0	1	2	10
村山　康平	.429	32	28	12	5	5	0	2	5	3	4	6	0	0	0	9
田中　道太郎	.347	55	49	17	12	5	0	0	3	2	6	7	0	0	2	12
三井　悠嗣	.333	38	33	11	10	1	0	0	2	5	5	6	0	0	1	12
米倉　拓也	.313	53	48	15	11	2	0	2	12	5	4	6	0	1	0	11
川島　尚仁	.286	55	42	12	10	2	0	0	4	3	7	3	5	1	0	12
塩田　貴大	.278	38	36	10	7	3	0	0	2	3	1	0	0	1	3	8
岡芹　隼	.269	32	26	7	5	2	0	0	1	1	6	2	0	0	0	9
鹿子島　宜美	.240	56	50	12	9	2	1	0	7	5	5	8	1	0	3	12
河西　大樹	.143	22	21	3	2	1	0	0	2	1	0	6	1	0	0	8
20打席以下																
広沢　鴻輝	.647	18	17	11	7	3	0	1	3	4	1	0	0	0	1	7
手塚　栄司	.333	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
仁田　真彦	.188	17	16	3	3	0	0	0	0	1	1	6	0	0	0	11
本田　真碁	.000	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	4

名前	出塁率
村山　康平	.500
今野　翔太	.472
三井　悠嗣	.421
田中　道太郎	.418
岡芹　隼	.406
川島　尚仁	.380
米倉　拓也	.358
鹿子島　宜美	.309
塩田　貴大	.289
河西　大樹	.143
20打席以下	
広沢　鴻輝	.667
手塚　栄司	.333
仁田　真彦	.235
本田　真碁	.000

●公式戦 投手成績（クラブリーグ除く。プロアマ交流戦、チャリティーマッチ含む）

防御率＝(自責点×9)/投球回

名前	防御率	投球回数	自責点	被安打	奪三振	与四死球	試合数
一重　弦矢	1.80	10	2	8	6	6	1
藤谷　周平	2.76	16 1/3	5	11	14	14	6
星野　真澄	3.06	32 1/3	11	27	38	9	6
北見　繁雄	4.26	6 1/3	3	7	3	3	1
嶋田　健人	5.17	31 1/3	18	34	20	16	8
鈴木　孝幸	5.40	3 1/3	2	2	0	2	2
石川　晃	13.50	2 2/3	4	5	1	4	4
西垣　陽平	54.00	1/3	2	1	0	2	3
吉田　創	0.00	0	1	0	0	1	1

●クラブリーグ戦 投手成績

防御率＝(自責点×9)/投球回

名前	防御率	投球回数	自責点	被安打	奪三振	与四死球	試合数
星野　真澄	0.00	3	0	1	5	2	1
佐藤　守	0.00	3	0	2	1	0	2
石上　翔太	0.00	2 2/3	0	2	1	1	3
中川　幸	0.00	1	0	0	1	0	1
北見　繁雄	0.00	0	0	0	0	2	1
西垣　陽平	2.25	4	1	5	1	1	1
石川　晃	3.38	10 2/3	4	10	7	4	4
一重 弦也	3.38	2 2/3	1	6	1	1	2
嶋田　健人	5.63	8	5	13	3	0	2
鈴木　孝幸	10.29	7	8	7	2	9	4
吉田　創	32.40	1 2/3	6	7	3	0	4

●クラブリーグ戦 打撃成績

名前	打率	打席	打数	安打	単打	二塁	三塁	本塁	打点	得点	四死球	三振	犠打	犠飛	盗塁	試合数
仁田　真彦	.500	27	18	9	9	0	0	0	4	4	8	0	1	0	0	6
鹿子島　宜美	.444	19	18	8	6	2	0	0	6	5	0	0	0	1	0	4
三井　悠嗣	.429	22	14	6	5	1	0	0	3	12	7	0	0	1	4	5
田中　道太郎	.385	16	13	5	4	1	0	0	2	5	3	2	0	0	0	4
広沢　鴻輝	.353	20	17	6	5	1	0	0	6	2	3	0	0	0	0	5
本田　真碁	.333	18	9	3	1	2	0	0	1	2	8	1	1	0	0	5
川島　尚仁	.333	21	15	5	3	2	0	0	2	5	5	0	1	0	0	5
河西　大樹	.318	25	22	7	5	2	0	0	6	4	2	1	0	1	2	5
今野　翔太	.273	15	11	3	3	0	0	0	1	1	3	0	0	1	0	3
手塚　栄司	.143	22	21	3	3	0	0	0	1	1	1	3	0	0	0	5
10打席以下																
村山　康平	.429	8	7	3	1	1	0	1	3	1	1	1	0	0	0	2
岡芹　隼	.400	9	5	2	2	0	0	0	1	1	3	0	1	0	0	2
塩田　貴大	.167	7	6	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2
米倉　拓也	.167	6	6	1	0	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1

名前	出塁率
仁田　真彦	.654
本田　真碁	.647
岡芹　隼	.625
田中　道太郎	.500
川島　尚仁	.500
鹿子島　宜美	.450
広沢　鴻輝	.450
今野　翔太	.400
河西　大樹	.360
手塚　栄司	.182
10打席以下	
村山　康平	.500
岡芹　隼	.625
塩田　貴大	.286
米倉　拓也	.167

